

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	桐朋学園芸術短期大学
設置者名	学校法人 桐朋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
芸術科	音楽専攻	夜・通信	6		11	17	7	
	演劇専攻	夜・通信			9	15	7	
専攻科	音楽専攻	夜・通信			10	16	7	
	演劇専攻	夜・通信			11	17	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://college.toho.ac.jp/media/attach_jitumu_kamokuichiran2024.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	桐朋学園芸術短期大学
設置者名	学校法人 桐朋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.toho-gakuen.com/pdf/executive.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	有限会社代表取締役	2022. 4. 1 ~ 2025. 3. 31	法人運営、業務執行 理事の監督他
非常勤	他学校法人理事	2022. 4. 1 ~ 2025. 3. 31	法人運営、業務執行 理事の監督他
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	桐朋学園芸術短期大学
設置者名	学校法人 桐朋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書の作成は、前年度1月までに各授業担当者へ講義概要執筆を依頼し、各教員にシステム上で入力するよう案内している。また、依頼の際には、記入方法や注意事項をまとめた執筆要領も配布している。</p> <p>授業計画書には「履修条件」「授業の概要」「授業の到達目標」「授業計画」「学生に対する教員からのフィードバック方法」「授業時間外の学習」「教科書・参考書等」「成績評価の方法・基準」「科目ナンバリング」「学位授与方針との関係」「他専攻履修の可否」「キャップ対象か否か」を明示している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://tohogakuen-geijututandai.cloud-syllabus.com/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「学修の評価」については、「受験資格」「成績の認定基準」「評価の基準」が定められ、学生便覧に詳細を記載している。</p> <p>授業計画書には、授業科目ごとに「授業の概要」「授業の到達目標」「授業計画」「成績評価」が明示されている。1単位の授業科目は45時間の学習を必要とする内容をもって構成され、「授業の到達目標」は半期の授業、または一定期間の集中講義で達成可能な学習成果である。</p> <p>「成績評価」は、授業態度、課題発表の成果、期末試験、小テスト、レポートなどの中から、複数の評価項目を用いて査定することを原則としている。また芸術を専門とする本学では、演奏会、発表会、試演会、卒業公演をもって、学習成果を学内外に公表してきている。</p> <p>なお各期の成績評価は、学生に配付するとともに、保証人に送付している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績の認定基準については、100点を最高とし、50点以上を認定、50点未満を不認定とする。また、試験を無断で欠席した場合は不認定とする。</p> <p>本学では、2015年度よりGPA制度を学修指導等に活用している。演劇教育・音楽教育の特殊性を考慮しつつ、量的・質的データとして学習成果を測定する仕組みの確立に努め、学習指導に役立てている。学生が自らの学業成績の状況を的確に把握し、それに基づいて適切に履修計画を立て、主体的に学修を進めていくことを目的としている。</p> <p>※GPA算出式</p> <p>GPA = (履修科目のGP × 当該科目の単位数) の合計 ÷ 履修科目単位数の合計</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学科成績</th> <th>評価</th> <th>GP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100-90</td> <td>評価【S】</td> <td>⇒【4】</td> </tr> <tr> <td>89-80</td> <td>評価【A】</td> <td>⇒【3】</td> </tr> <tr> <td>79-60</td> <td>評価【B】</td> <td>⇒【2】</td> </tr> <tr> <td>59-50</td> <td>評価【C】</td> <td>⇒【1】</td> </tr> <tr> <td>50- 0</td> <td>評価【D】</td> <td>⇒【0】</td> </tr> </tbody> </table>		学科成績	評価	GP	100-90	評価【S】	⇒【4】	89-80	評価【A】	⇒【3】	79-60	評価【B】	⇒【2】	59-50	評価【C】	⇒【1】	50- 0	評価【D】	⇒【0】
学科成績	評価	GP																	
100-90	評価【S】	⇒【4】																	
89-80	評価【A】	⇒【3】																	
79-60	評価【B】	⇒【2】																	
59-50	評価【C】	⇒【1】																	
50- 0	評価【D】	⇒【0】																	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://college.toho.ac.jp/major/degree/																		
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【芸術科】</p> <p>卒業するための最低修得単位数は、音楽専攻 62 単位、演劇専攻 62 単位であるが、履修条件は専攻によって異なる。(2024 年度学生便覧・講義概要 P72 別表 4 を参照)。</p> <p>【専攻科】</p> <p>修了するための最低修得単位数は、音楽専攻 50 単位、演劇専攻 50 単位であるが、履修条件は専攻によって異なる。(2024 年度学生便覧 P75 別表 6 および P78 別表 7 を参照)。</p> <p>なお、学習成果については、各専攻会議、教務・入試委員会を中心に定期的に査定を行い、2 月、3 月の定例教授会において卒業判定および修了判定をしている。</p>																			
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://college.toho.ac.jp/major/degree/ https://college.toho.ac.jp/media/sotsugyouyouken2024.pdf																		

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	桐朋学園芸術短期大学
設置者名	学校法人 桐朋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.toho-gakuen.com/pdf/2023zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.toho-gakuen.com/pdf/2023zaimu.pdf
財産目録	https://www.toho-gakuen.com/pdf/2023zaimu.pdf
事業報告書	https://www.toho-gakuen.com/pdf/2023houkoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.toho-gakuen.com/pdf/2023zaimu.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://college.toho.ac.jp/guide/disclosure/jikotenken_hyouka/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法 : https://college.toho.ac.jp/major/music/policy/ https://college.toho.ac.jp/major/music/policy/)
(概要) 【芸術科音楽専攻】 音楽に関わる専門教育その他を通して、豊かな感性を培い、職業および人間形成に必要な能力の育成を目指している。徹底した実技指導と、少人数クラス制のきめ細かな講義により、幅広い分野で活躍する人材を送り出すことを目標としている。 【芸術科演劇専攻】 幅広い教養と高度な専門性を兼ね備えた専門俳優の育成と研究を目的とし、演劇芸術における表現の基本を体得することを目標としている。 【専攻科音楽専攻】 学科の教育課程の上に立って、専門領域を体系的・系統的に学び、現在の高度化した音楽界の実情に対応できる知識と技術を獲得することを目的とする。演奏家、指導者を育成すると共に、音楽療法、アウトリーチの実践を通し、社会において教育、福祉等様々な分野で活躍し得る有為の人材を育成することを目標としている。 【専攻科演劇専攻】 学科の教育課程の上に立って、専門領域を体系的・系統的に学び、現在の多様化した演劇界の実情に対応できる知識と技術を獲得することを目的とする。俳優、表現者を育成すると共に、国際交流や地域連携の活動を通し、広く演劇分野で活躍し得る有為の人材を育成することを目標としている。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法 : https://college.toho.ac.jp/major/music/policy/ https://college.toho.ac.jp/major/music/policy/)

(概要)

【芸術科音楽専攻】

豊かな感性と知識を備えた音楽家になるため、学科の教育課程（教養科目および専攻科目）の学修を通して専門的学習成果および汎用的学習成果を獲得し、専攻の定める卒業の要件を満たした者に学位を授与する。

【芸術科演劇専攻】

幅広い教養と高度な専門性を兼ね備えた専門俳優になるため、学科の教育課程（教養科目および専攻科目）の学修を通して専門的学習成果および汎用的学習成果を獲得し、専攻の定める卒業の要件を満たした者に学位を授与する。

【専攻科音楽専攻】

実践力・応用力を備え、広く音楽分野で活躍できる人材になるため、専攻科の教育課程の学修を通して科目の単位を修得し、専攻の定める修了の要件を満たした者に修了証書を授与する。

【専攻科演劇専攻】

実践力・応用力を備え、広く演劇分野で活躍できる人材になるため、専攻科の教育課程の学修を通して科目の単位を修得し、専攻の定める修了の要件を満たした者に修了証書を授与する。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://college.toho.ac.jp/major/music/policy/>
<https://college.toho.ac.jp/major/music/policy/>)

(概要)

【芸術科音楽専攻】

幅広い教養と高度な専門性を兼ね備えた演奏家、指導者の育成と研究を目的とし、音楽芸術における演奏技術、表現の基本を体得することを目的としている。そのため、以下の三項目を軸として2年間の教育課程を組み、具体化していく。

①楽譜を読み取る力

音楽理論、ソルフェージュ、音楽史等の基本を習得し、楽譜に書かれていることを正確に読み取る力を養う。

②演奏表現

個人レッスンを中心に、基礎的な演奏技術、表現力を身につけるための実践的な力を養う。

③アンサンブル

古典から近代までクラシックを中心とした楽曲を学び、基礎的なアンサンブル能力を獲得する。

【芸術科演劇専攻】

幅広い教養と高度な専門性を兼ね備えた専門俳優の育成と研究を目的とし、舞台芸術における表現の基本を体得することを目標としている。そのため、以下の三項目を軸として2年間の教育課程を組み、具体化していく。

①戯曲を読み解く力

戯曲の読解力を養い、言葉を演劇作品にしていくための想像力を培う。

②身体訓練

声を含めた身体訓練を通して、自分の想像した表現を実現する力を身につける。

③アンサンブル

アンサンブルに必要な優れたコミュニケーション能力と協働の精神を養う。

【専攻科音楽専攻】

芸術科音楽専攻の2年間の教育課程の上に立って、演奏家、指導者を育成すると共に、音楽療法、アウトリーチの実践を通し、社会において教育、福祉等様々な分野で活躍し得る有為の人材を育成することを目標としている。そのため以下の三項目を軸として2年間の専攻課程を組んで具体化していく。

①音楽の理論と歴史

音楽を中心とした芸術の理論と歴史を発展的に学び、楽曲に込められた意味を体系的に分析する能力、また作曲された時代の歴史的背景を読み取り演奏に活かす力を養う。

②演奏表現

個人レッスンを中心に、時代に即した演奏表現、技術力を身につける。

③アンサンブル

ジャンルにとらわれない多種多様なコラボレーションに柔軟に応じることができる能力を獲得する。

【専攻科演劇専攻】

芸術科演劇専攻の2年間の教育課程の上に立って、幅広い教養とより高度な専門性を兼ね備えた専門俳優および表現者の育成と研究を目的とし、舞台芸術における表現を発展的に体得することを目標としている。そのため、以下の三項目を軸として2年間の専攻課程を組んで具体化していく。

①舞台芸術の理論と歴史

演劇を中心とした舞台芸術の理論と歴史を発展的に学び、広い視野に立って表現活動を行う力をつける。

②劇作・演出・演劇教育

劇作、演出、演劇教育の理論を実践的に学び、舞台を構成する力を養う。

③演技・実技

様々な演技メソッドと実技を体得し、それを舞台上の表現に発展させる力を養う。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://college.toho.ac.jp/major/music/policy/>
<https://college.toho.ac.jp/major/music/policy/>)

(概要)

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を学習成果とみなしているため、各専攻のアドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)はディプロマ・ポリシーに対応し、「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲」「態度」「技能・表現」の5つの観点から成る。

【芸術科音楽専攻】

①専門実技、音楽理論における知識と基礎的な理解力を有する者。(知識・理解)

②楽典、ソルフェージュ、和声理論などを体系的に学習し、積極的に学ぶ意欲をもっている者。(思考・判断)

③音楽のみならず芸術一般に幅広い関心を持ち、入学後の勉学について明確な志向と熱意を有する者。(関心・意欲)

④他者と集団での創造活動をするための協調性があり、専門実技、アンサンブルなどに積極的に参加できる者。(態度)

⑤プロフェッショナルな音楽家を目指し、その技能習得に要する基礎的な演奏技術と表現能力がある者。(技能・表現)

【芸術科演劇専攻】

①専門俳優または表現者に必要な日本語の読解力がある者。(知識・理解)

②習得した知識・技能を活用し、課題に取り組むことができる者。(思考・判断)

- ③演劇のみならず芸術一般に幅広い関心を持ち、入学後の勉学について明確な志向と熱意を有する者。（関心・意欲）
- ④基礎的なコミュニケーション能力と協調性があり、集団での創造活動に積極的に参加できる者。（態度）
- ⑤専門俳優または表現者（ミュージカル俳優、声優、ダンサー、パフォーマー等）を目指し、その技能習得に要する基礎的な身体能力と表現力を有する者。（技能・表現）

【専攻科音楽専攻】

- ①専門実技、音楽理論における基礎的な知識と理解力があり、さらにそれを発展させようという意欲を持つ者。（知識・理解）
- ②演奏表現、音楽史等を多面的に考察し、積極的に学ぶ意欲を持つ者。（思考・判断）
- ③芸術のみならず社会の諸事情に関心を有し、音楽を通して社会に参加し、貢献する意欲を持つ者。（関心・意欲）
- ④専門実技、アンサンブル等を通し他者と積極的に関わり、その中でも主体性をもって意欲的に学ぶ態度を有する者。（態度）
- ⑤プロフェッショナルな演奏家、指導者を目指し、その技能習得に要する理解力と表現力を有する者。（技能・表現）

【専攻科演劇専攻】

- ①専門俳優または表現者に必要な日本語の読解力がある者。（知識・理解）
- ②習得した知識・技能を活用し、課題に取り組むことができる者。（思考・判断）
- ③演劇のみならず芸術一般に幅広い関心を持ち、入学後の勉学について明確な志向と熱意を有する者。（関心・意欲）
- ④基礎的なコミュニケーション能力と協調性があり、集団での創造活動に積極的に参加できる者。（態度）
- ⑤専門俳優または表現者（ミュージカル俳優、声優、ダンサー、パフォーマー等）を目指し、その技能習得に要する基礎的な身体能力と表現力を有する者。（技能・表現）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://college.toho.ac.jp/guide/overview/composition/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
芸術科	—	9人	4人	6人	0人	0人	19人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			156人				156人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://college.toho.ac.jp/major/drama/professor/full-time_teacher/ https://college.toho.ac.jp/major/music/professor/full-time_teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
芸術科	120人	74人	61.7%	240人	171人	71.3%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	120人	74人	61.7%	240人	171人	71.3%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
芸術科	89人 (100%)	31人 (34.8%)	21人 (23.6%)	37人 (41.6%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	89人 (100%)	31人 (34.8%)	21人 (23.6%)	37人 (41.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学の教育課程は、教養科目と専攻科目から成り、専攻科目は各専攻のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に基づいて編成されている。授業科目を通年または前後期履修し、授業計画には「履修条件」「授業の概要」「授業の到達目標」「授業計画」「学生に対する教員からのフィードバック方法」「授業時間外の学習」「教科書・参考書等」「成績評価の方法・基準」「科目ナンバリング」「学位授与方針との関係」「他専攻履修の可否」「キャップ対象か否か」を明示している。</p> <p>また、「教育課程」「卒業要件」を本学ホームページ上で公開している他、「講義概要」はシステムから検索できるようになっている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>「学修の評価」については、「受験資格」「成績の認定基準」「評価の基準」が定められ、学生便覧に詳細を記載している。</p> <p>授業計画には、授業科目ごとに「授業の概要」「授業の到達目標」「授業計画」「成績評価」が明示されている。1単位の授業科目は45時間の学習を必要とする内容をもって構成され、「授業の到達目標」は半期の授業、または一定期間の集中講義で達成可能な学習成果である。</p> <p>「成績評価」は、授業態度、課題発表の成果、期末試験、小テスト、レポートなどの中から、複数の評価項目を用いて査定することを原則としている。また芸術を専門とする本学では、演奏会、発表会、試演会、卒業公演をもって、学習成果を学内外に公表している。</p> <p>なお各期の成績評価は、学生に配付するとともに、保証人に送付している。</p>

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
芸術科	音楽専攻	62 単位	有・無	半期 20 単位
	演劇専攻	62 単位	有・無	半期 20 単位
専攻科	音楽専攻	50 単位	有・無	単位
	演劇専攻	50 単位	有・無	単位

G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法：
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）	公表方法：

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://college.toho.ac.jp/guide/campus/access/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金		その他	備考 (任意記載事項)
芸術科	音楽専攻	1,132,000 円	420,000 円		327,000 円	施設拡充費
	演劇専攻	1,007,000 円	330,000 円		392,000 円	施設拡充費
専攻科	音楽専攻	1,017,000 円	内部進学	10,000 円	147,000 円	演奏実習費
			外部進学	210,000 円	232,000 円	施設拡充費
	演劇専攻	1,007,000 円	内部進学	10,000 円	232,000 円	舞台実習費
			外部進学	165,000 円	317,000 円	施設拡充費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>【音楽専攻】 入学試験合格者を対象とした「入学前課題」を実施し、入学後の学修にあたり、基礎知識の補習教育を実施している。入学後も特定の基礎科目については、能力に応じてクラス分けを行い、各人の能力に沿った指導が出来るよう体制を整えている。</p> <p>【演劇専攻】 クラス制を設けており、基礎的な実技・演技科目についてはクラス単位で学修を進めている。また、年に1度学生との面談を行い、学生の学修状況・学修姿勢等の把握に努めている。</p> <p>【両専攻共通】 半期ごとに学生による「授業評価アンケート」を実施し、学生からの意見を汲み上げている。アンケートの集計結果は各科目担当教員にフィードバックされ、授業の質の向上や改善に役立てられている。 また、経済的な支援として、本学独自の「奨学会」や「特待生」制度を設け、修学にあたり経済的に困難にある学生の支援を行っている。そのほか日本学生支援機構の奨学金を始め、民間の奨学金の告知・手続きも随時行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要) https://college.toho.ac.jp/career/information/music/ https://college.toho.ac.jp/career/information/drama/</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要) https://college.toho.ac.jp/campus_life/hoken/</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://college.toho.ac.jp/guide/bulletin/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。